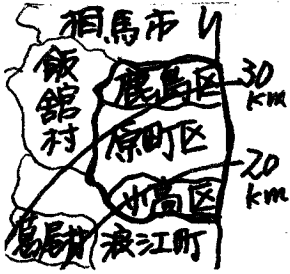


九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 No.272

2015(平成27)年10月1日(木)発行

「塩梅が悪い」
「体のぐあいが悪い」こと。



「南相馬市って？」 ◆南相馬市は2006(平成18)年1月1日、原町市と相馬郡小高町と鹿島町が合併して誕生 ◆原発事故後、鹿島区は原発から30キロ圏外でなんの指定も補償もありません。原町区は半年間「避難準備区域」でしたが現在は自由に生活。ところが小高区は20キロ圏内でいまだ「避難区域」で住めません ◆同じ南相馬市民でも3区域で完全に分断されていて、市外や県外の方には誤解も多いようです。

安保戦争法案が民意無視で成立しても 廃止まで活動はこれからです!

●9月17日未明、「安保戦争法案」が政府与党の強行採決で成立。国会周辺や全国での抗議の国民の声を無視した暴挙です。「デモはテロ」(石破茂)とか、「すぐに雲散霧消するよ」(石原慎太郎)、「デモよりサザンのコンサートで決めた方が民主的」(橋下徹)など、リーダーたちは何も分かっていません。廃案はさらにこれからの運動次第です。

●私たち福島県民も **9月13日(日) 14時から「戦争法案NO! 福島県民大集会」**を

福島市の県庁前広場で開催し、その後福島市内をパレードしました。全県から2,500人もの人々が集まり、「はらまち九条の会」の会員も車やバスで阿武隈山地を越え、約50名が集結。画期的なことでした。



▲「はらまち九条の会」の会員約50名が、集会と市内のデモ行進に参加しました。(9月13日夕方県庁前で)



▲福島駅前を行進。2,500人の参加ですから、延々と続くデモ隊で、「戦争法案今すぐ廃案」と若者が先導し、頼もしいパレードでした。



▲9月4日、福島市の集会に合流参加を呼びかけたハガキ。すると「どのあたりに集まりますか」「駐車場はどこですか」「行きたいが身体が…」友人を誘って行きますよ」など反応も早く、会員の「安保法案反対」の熱意やアベ政権への怒りがひしひしと伝わってきました。

福島駅の南のNHK放送会館前では、「公正な報道をせよNHK」「アベ放送局じゃないだろう」というシュプレヒコールで盛り上がり、県内各地からの皆さんもNHKへの不満や不信も大変強い。◀

戦争法案成立・会員の怒りの声

忘れないで次の選挙で

絶望はしない 原町区二見町・佐藤邦雄さん
 「安保法」は強行されたが、絶望はしない。若者やママさんたち、学者や文化人たちが、大勢立ち上がって反対の声を上げた。それは決して無駄ではなく、いずれ実を結んで「廃止」への力に続くことを信じている。



朝倉 悠三 (原美橋協会員)

次の選挙にこそ 原町区国見町・大槻千鶴子さん ▲「福島民報」連載・震災絵日記より 絵・朝倉悠三 (会員)

私たちにできることは確かな知識を学び、緊張感を持って国会議員を選ぶことです。国家の過ちにより、次の世代に塗炭の苦しみを与えてはなりません。自衛隊の海外派兵は、国民として絶対に認められないことです。次の選挙こそ国の命運がかかっています。

最高責任者を責ぐ点があるとするならば 神奈川県相模原市 (原町出身)・高橋与実さん

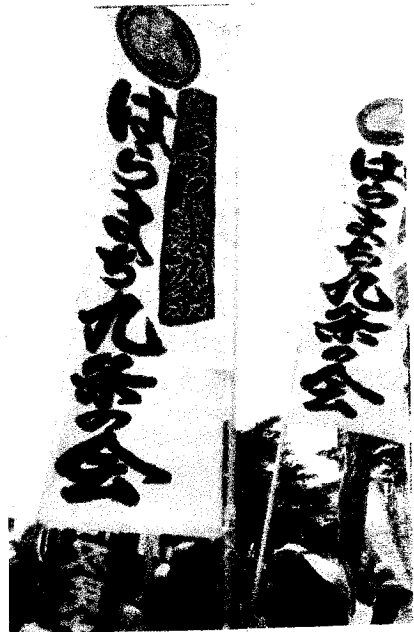
今年6月、「憲法9条がノーベル賞に再ノミネート」の新聞記事を喜んでいたら、思春期で最近あまり話さない中学2年生の息子が、詳しく教えてくれと言ってきました。私の説明を聞き、「戦争に行きたくない」とキッパリ。集団的自衛権について前のめりの政府は「限定的」などとしきりに説明するものの、為政者のキナ臭い目論見を、子どもこそキチンと見抜いています。

生まれてたった14年なのに、戦争を身近に感じている、今のこの国の異常さ。大学生SEA Lsの子たちの活動にも心打たれ、6月から仕事帰りに国会議事堂前のデモに集っています。最近では高校生や中学生の姿も見られるようになりました。この間、いろいろな人と話す機会がありました。都内在住の定年後のおじさん、20代の若いOLさん、白河から駆けつけた若い農家さん、いわきから自主避難して東京に住んでいるという中学1年生。みな、一人で来ていました。

9月に入ってからは異常でした。国会議事堂前に5000人、8000人の警官が配備され、道には隙間なく機動隊の大型車両。天安門事件を思い出しました。私たちはテロリストでも何でもありません。「憲法を守れ」とごくまっとうなことを訴えているにすぎません。

作家の島田雅彦さんがツイッターで、「意図はしなかったにせよ、市民に政治的覚醒を促したことだけは安倍政権の褒められるべき点だ」と書いていました。権力という巨大な力を前に、自分をゴマメのように、アリンコのように感じます。しかし、「蟻の穴から堤も崩れる」「蟻の思いも天に届く」という諺もあります。

希望は捨てない限り、希望です。憲法9条も、なくなってなどいません。いまだきちんと明文化されています。諦めません、これからも毎週金曜、国会議事堂前のデモに集います。



▲9月13日 (日) 福島県庁前の県民大集会で、「双頭の鷲の旗の下に」よろしく、「はらまち九条の会の旗の下に」会員50名が原町から集結しました。この旗は会発足の時に、幅50センチ、縦180センチの布地に、手描きで2枚を作りました。ネオカラーで水にも強いのですが、ここで役立つとは…。次は国会前でこの旗を立てて抗議したい。